



2019年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2018年11月8日
上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社
コード番号 4543 URL http://www.terumo.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 佐藤 慎次郎
問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 大曲 昌夫 TEL 03-6742-8550
四半期報告書提出予定日 2018年11月12日 配当支払開始予定日 2018年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	284,997	0.1	47,582	△16.8	44,527	△21.6	34,389	△16.4	34,454	△16.3	72,317	36.8
2018年3月期第2四半期	284,610	—	57,175	—	56,765	—	41,115	—	41,171	—	52,863	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	95.65	90.90
2018年3月期第2四半期	116.97	109.23

(参考) 調整後営業利益 2019年3月期第2四半期 55,296百万円 2018年3月期第2四半期 64,798百万円

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	1,134,938	678,081	677,936	59.7
2018年3月期	1,078,981	550,435	550,307	51.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	23.00	—	27.00	50.00
2019年3月期	—	27.00			
2019年3月期（予想）			—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		調整後 営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	597,000	1.6	122,000	△2.3	108,000	△0.5	78,500	△14.0	214.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社が発行した転換社債型新株予約権付社債について、2018年9月30日までに一部権利行使による株式への転換が行われました。連結業績予想の「基本的1株当たり当期利益」については、この影響を考慮して計算しております。

・下期想定レート：1ドル=105円、1ユーロ=130円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(注) 詳細は、[添付資料] 10ページ「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記（4）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	379,760,520株	2018年3月期	379,760,520株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	9,170,781株	2018年3月期	26,066,214株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	360,216,041株	2018年3月期2Q	351,985,990株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、[添付資料] 4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益です。調整後営業利益は、セグメント利益と一致しており、当社グループの業績管理指標として用いているため、開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年9月30日、以下「当第2四半期」)における医療市場では、各国で医療費抑制が進められる中、日本では4月に薬価・公定価改定が実施され、依然として先進国を中心に、財源の重点的・効率的な配分に向けて医療経済性へのニーズが高まっています。

このような環境の下、当社グループでは、「日本発のグローバル企業」として、トータルクオリティ(製品・供給・サービスなどを含めたトータルな質)においてワールドクラスの信頼を獲得し、世界の医療現場からトップブランドとして信頼されるメーカーとなることを中長期ビジョンとして掲げ、経営を推進しております。

当第2四半期の業績は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
売上収益	284,610	284,997	0.1	0.4
売上総利益	155,409	154,588	△0.5	△0.4
調整後営業利益	64,798	55,296	△14.7	△14.7
営業利益	57,175	47,582	△16.8	△16.2
税引前四半期利益	56,765	44,527	△21.6	—
四半期利益	41,115	34,389	△16.4	—
親会社の所有者に帰属する四半期利益	41,171	34,454	△16.3	—

(単位：百万円)

地域別売上収益	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
日本	92,502	91,076	△1.5	△1.5
欧州	55,336	56,237	1.6	0.3
米州	83,629	84,300	0.8	2.3
アジア他	53,141	53,382	0.5	0.7
海外計	192,107	193,921	0.9	1.3
合計	284,610	284,997	0.1	0.4

<売上収益>

売上収益は、前年同期比0.1%増の2,850億円となりました。

日本では、ホスピタルカンパニーで疼痛緩和領域や外科領域、製薬企業との提携ビジネスであるアライアンス事業などが好調に推移しましたが、心臓血管カンパニーにおいて、公定価改定の影響に加え、一部の製品で愛鷹工場からの出荷遅延があったことにより、全社で減収となりました。

海外では、愛鷹工場での出荷遅延の影響がありましたが、心臓血管カンパニーのニューロバスキュラー事業、ホスピタルカンパニーのアライアンス事業が好調に推移したほか、血液システムカンパニーの血液センター向け製品が牽引し、増収となりました。

<売上総利益>

売上総利益は、日本における公定価改定の影響などを受け、前年同期比0.5%減の1,546億円となりました。

<調整後営業利益>

調整後営業利益は、販売費及び一般管理費、特に研究開発費が増加したことにより、前年同期比14.7%減の553億円となりました。

なお、調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益です。また、調整後営業利益は、セグメント利益と一致しており、当社グループの業績管理指標として用いています。

<営業利益>

営業利益は、調整後営業利益の減少により、前年同期比16.8%減の476億円となりました。

<税引前四半期利益>

税引前四半期利益は、前年同期の為替差益に対し、当第2四半期は為替差損を計上したことにより、前年同期比21.6%減の445億円となりました。

<親会社の所有者に帰属する四半期利益>

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、米国税制改革による連邦法人税率引き下げの結果、法人所得税費用に減少が生じましたが、税引前四半期利益の減少により、前年同期比16.3%減の345億円となりました。

報告セグメント別の売上収益の状況は以下のとおりです。

(単位：百万円)

報告セグメントの名称		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
心臓血管カンパニー	売上収益	157,572	153,464	△2.6	△2.5
	(日本)	26,365	22,326	△15.3	△15.3
	(海外)	131,206	131,137	△0.1	0.0
ホスピタルカンパニー	売上収益	77,705	81,228	4.5	4.6
	(日本)	60,651	62,834	3.6	3.6
	(海外)	17,053	18,394	7.9	8.3
血液システムカンパニー	売上収益	49,214	50,173	1.9	2.8
	(日本)	5,378	5,806	8.0	8.0
	(海外)	43,835	44,366	1.2	2.2

<心臓血管カンパニー>

ニューロバスキュラー事業が好調に推移したものの、日本の公定価改定の影響に加え、一部の製品で愛鷹工場からの出荷遅延があった結果、心臓血管カンパニーの売上収益は前年同期比2.6%減の1,535億円となりました。

<ホスピタルカンパニー>

ホスピタルシステム事業の解熱鎮痛剤「アセリオ」を含めた疼痛緩和領域やスプレー式癒着防止材「アドスプレー」が好調に推移したほか、アライアンス事業の製薬企業との提携ビジネスが拡大した結果、ホスピタルカンパニーの売上収益は前年同期比4.5%増の812億円となりました。

<血液システムカンパニー>

米州と日本を中心に血液センター向けの販売が堅調に推移しました。また、欧州でアフェレシス治療分野の売上収益も伸長しました。

その結果、血液システムカンパニーの売上収益は前年同期比1.9%増の502億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、560億円増加して11,349億円となりました。これは主に、前期末から為替相場が米ドルに対して円安に推移した影響や生産能力増強のための設備投資及び新ITシステムへの投資等により、有形固定資産、のれん及び無形資産が317億円増加したことによるものです。

負債合計は、717億円減少して4,569億円となりました。これは主に転換社債型新株予約権付社債の転換により非流動負債の社債及び借入金が583億円減少したことによるものです。

資本合計は、1,276億円増加して6,781億円となりました。これは主に、転換社債型新株予約権付社債の転換による影響(転換に充当した自己株式の減少等)により646億円増加、為替相場の影響等により在外営業活動体の換算差額が375億円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年8月8日に発表した連結業績予想に変更はありません。医療機器・医薬品業界を取り巻く環境の変化や為替レートの動向など、事業環境は不透明な状況が続くことが予想されますが、当社グループは目標の達成に向けて、医療の質と効率の向上に貢献する高付加価値製品の開発及び販売拡大、継続的な原価改善、販売費及び一般管理費の効果的な運用などに注力してまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位 : 百万円)

	前連結会計年度 (2018年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (2018年 9 月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	167,832	180,746
営業債権及びその他の債権	121,402	116,319
その他の金融資産	659	370
棚卸資産	112,064	127,715
未収法人所得税等	530	866
その他の流動資産	8,421	9,423
流動資産合計	410,912	435,442
非流動資産		
有形固定資産	179,196	188,120
のれん及び無形資産	442,660	465,420
持分法で会計処理されている投資	5,710	5,727
その他の金融資産	13,815	15,276
繰延税金資産	23,356	21,838
その他の非流動資産	3,328	3,111
非流動資産合計	668,068	699,496
資産合計	1,078,981	1,134,938

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (2018年 9 月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	67,515	68,463
社債及び借入金	47,436	47,949
その他の金融負債	407	11,590
未払法人所得税等	15,970	10,635
引当金	198	172
その他の流動負債	47,483	42,122
流動負債合計	179,013	180,934
非流動負債		
社債及び借入金	288,776	230,427
その他の金融負債	15,452	1,833
繰延税金負債	24,124	24,555
退職給付に係る負債	10,063	8,491
引当金	82	89
その他の非流動負債	11,032	10,524
非流動負債合計	349,532	275,922
負債合計	528,545	456,856
資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	52,445	52,047
自己株式	△101,546	△35,737
利益剰余金	588,932	613,202
その他の資本の構成要素	△28,240	9,707
親会社の所有者に帰属する持分合計	550,307	677,936
非支配持分	128	144
資本合計	550,435	678,081
負債及び資本合計	1,078,981	1,134,938

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上収益	284,610	284,997
売上原価	129,201	130,409
売上総利益	155,409	154,588
販売費及び一般管理費	99,685	110,717
その他の収益	2,104	5,482
その他の費用	652	1,771
営業利益	57,175	47,582
金融収益	992	1,008
金融費用	1,201	4,005
持分法による投資損益 (△は損失)	△201	△57
税引前四半期利益	56,765	44,527
法人所得税費用	15,650	10,137
四半期利益	41,115	34,389
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	41,171	34,454
非支配持分	△55	△64
四半期利益	41,115	34,389
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益 (円)	116.97	95.65
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	109.23	90.90

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期利益	41,115	34,389
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	296	169
純損益に振り替えられることのない項目 合計	296	169
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	11,201	37,497
キャッシュ・フロー・ヘッジ	111	271
ヘッジコスト	139	△10
持分法適用会社におけるその他の包括利益 に対する持分	△1	—
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	11,451	37,758
その他の包括利益	11,748	37,927
四半期包括利益	52,863	72,317
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	52,923	72,382
非支配持分	△59	△65
四半期包括利益	52,863	72,317

(注) 上記の計算書の項目は、税引後で開示しております。

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素			
2017年4月1日時点の残高	38,716	52,478	△108,225	513,578	△5,126	491,421	101	491,522
四半期利益	—	—	—	41,171	—	41,171	△55	41,115
その他の包括利益	—	—	—	—	11,751	11,751	△3	11,748
四半期包括利益合計	—	—	—	41,171	11,751	52,923	△59	52,863
自己株式の取得	—	—	△2	—	—	△2	—	△2
自己株式の処分	—	2	56	△1	—	56	—	56
剰余金の配当	—	—	—	△7,743	—	△7,743	—	△7,743
その他の資本の構成要素から 利益剰余金への振替	—	—	—	△3	3	—	—	—
子会社の増資に伴う持分の 変動	—	—	—	—	—	—	136	136
株式報酬取引	—	—	—	—	71	71	—	71
所有者との取引額合計	—	2	53	△7,749	75	△7,618	136	△7,482
2017年9月30日時点の残高	38,716	52,480	△108,172	547,000	6,700	536,726	177	536,904

当第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素			
2018年4月1日時点の残高	38,716	52,445	△101,546	588,932	△28,240	550,307	128	550,435
会計方針の変更	—	—	—	54	—	54	—	54
修正再表示後の残高	38,716	52,445	△101,546	588,986	△28,240	550,361	128	550,490
四半期利益	—	—	—	34,454	—	34,454	△64	34,389
その他の包括利益	—	—	—	—	37,928	37,928	△0	37,927
四半期包括利益合計	—	—	—	34,454	37,928	72,382	△65	72,317
自己株式の取得	—	—	△3	—	—	△3	—	△3
自己株式の処分	—	—	131	△42	△88	0	—	0
剰余金の配当	—	—	—	△9,549	—	△9,549	—	△9,549
子会社の増資に伴う持分の 変動	—	—	—	—	—	—	81	81
株式報酬取引	—	—	—	—	108	108	—	108
転換社債型新株予約権付社債 の転換	—	△397	65,681	△645	—	64,637	—	64,637
所有者との取引額合計	—	△397	65,809	△10,238	19	55,192	81	55,273
2018年9月30日時点の残高	38,716	52,047	△35,737	613,202	9,707	677,936	144	678,081

(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した重要な会計方針と同一です。

当社グループは、第 1 四半期連結会計期間より IFRS 第 15 号「顧客との契約から生じる収益」(2014 年 5 月公表) 及び「IFRS 第 15 号の明確化」(2016 年 4 月公表) (合わせて以下、「IFRS 第 15 号」) を適用しております。IFRS 第 15 号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

IFRS 第 15 号の適用に伴い、下記の 5 ステップアプローチに基づき、収益を認識しております。

- ステップ 1 : 顧客との契約を識別する
- ステップ 2 : 契約における履行義務を識別する
- ステップ 3 : 取引価格を算定する
- ステップ 4 : 取引価格を契約における履行義務に配分する
- ステップ 5 : 企業が履行義務の充足時に収益を認識する

当社グループの製品販売は、製品の引渡時点において顧客が当該製品に対する支配を獲得することから、履行義務が充足されると判断しており、当該製品の引渡時点で収益を認識しております。また、収益は、顧客との契約において約束された対価から、値引き、リベート及び返品などを控除した金額で測定しております。

なお、本要約四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

当社グループは、上記基準書以外に第 1 四半期連結会計期間より、国際財務報告解釈指針委員会 (IFRIC) 第 22 号「外貨建取引と前払・前受対価」を適用しております。IFRIC 第 22 号は、企業が外貨建ての契約について対価の前払又は前受を行う場合に適用すべき換算レートを定めたものです。この解釈指針の適用が、本要約四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントに関する基礎

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品群別に分類された社内カンパニー制を採用しており、各社内カンパニー本部は、取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、社内カンパニー制を基礎とした製品群別のセグメントから構成された「心臓血管カンパニー」、「ホスピタルカンパニー」及び「血液システムカンパニー」の3つを報告セグメントとしております。

(2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりです。

前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上収益						
外部顧客への売上収益	157,572	77,705	49,214	284,491	119	284,610
セグメント利益 (調整後営業利益)	42,287	13,731	7,781	63,800	997	64,798
(調整項目)						
買収無形資産の償却費	△2,969	—	△4,177	△7,146	—	△7,146
一時的な損益						△475
営業利益						57,175
金融収益						992
金融費用						△1,201
持分法による投資損益						△201
税引前四半期利益						56,765

(注) 調整額は以下のとおりです。

- 1) 外部顧客への売上収益の調整額119百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
- 2) セグメント利益の調整額997百万円には、棚卸資産の調整額353百万円、その他644百万円が含まれております。

当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー			
売上収益						
外部顧客への売上収益	153,464	81,228	50,173	284,866	131	284,997
セグメント利益 (調整後営業利益)	34,472	13,754	6,988	55,215	80	55,296
(調整項目)						
買収無形資産の償却費	△3,197	—	△4,163	△7,361	△124	△7,485
一時的な損益						△228
営業利益						47,582
金融収益						1,008
金融費用						△4,005
持分法による投資損益						△57
税引前四半期利益						44,527

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- 1) 外部顧客への売上収益の調整額131百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
- 2) セグメント利益の調整額80百万円には、棚卸資産の調整額△162百万円、その他243百万円が含まれております。
2. 一時的な損益△228百万円には、昨年度のプエルトリコにおけるハリケーン被害に関する保険金収入1,102百万円、米国シークエントメディカル, Inc. の株式取得に伴う条件付対価の公正価値変動△1,734百万円等が含まれております。